

ラルシュのコミュニティの憲章

話し合いに向けた草案 2022年1月21日



次の数十年を見据えて、わたしたちは、この憲章をわたしたちの指針とします。



この憲章は、次のことがらについて定めた地図のようなものです。

- わたしたちは何者か
- わたしたちが行うこと
- わたしたちの創立時の経験と、指針とするべき洞察
- わたしたちの核となる価値観
- わたしたちの核となる実践
- ひとつでありながらも多様なわたしたちの連盟
- より人間らしい社会をめざして



わたしたちは何者か・ラルシュとは

- ラルシュ国際連盟に属するコミュニティで、知的障がいのある人¹とない人が、生活を分かち合います。
- 相互のかかわりと神²への信頼を中心にして共に歩みます。
- 一人ひとりのかけがえのない価値をたたえ祝い、お互いを必要としていることを認め合います。

¹ 知的障がいのある人のことを日本のラルシュでは「なかま」と言います。

² 固有の宗教、宗派に限らず、それぞれの人が信じるものを大切にしています。



わたしたちの創立時の経験と、指針とするべき洞察

- 違いを超えて相互の関係を結ぶことにより、わたしたちは変容されてゆきます。このような出会いが、わたしたちをより真正で自由な存在に近づけてくれます。



わたしたちの核となる価値観は、経験に根ざしています

- わたしたちは力を尽くして一人ひとりの尊厳を守ります。
- 知的障がいのある人は、社会が必要とする洞察力、指導的役割、賜物（ちから）を有しています。
- わたしたちは人生を共に歩みます。わたしたちはコミュニティとして生き、そこに生じるさまざまな挑戦に向き合います。
- 差異は障壁でもあり、同時に招きでもあります。ラルシュでは、能力、経験、宗教、文化、言語の違いを超えて、日常的な世界の体験をお互いにわかる言葉で伝え合います。
- 霊性といのちの意味は、人生を充実させるための基礎です。ラルシュは、基督教の福音に根ざしていますが、さまざまな信念、慣習、宗教を持つ人たちによって形作られ続けています。



わたしたちが行うこと・ラルシュのめざすこと

- 互いにかかわり成長してゆく過程で見出される、知的障がいを持つ人の隠された賜物（ちから）を伝えてゆきます。
- わたしたちは、創立の物語が伝える中心的な価値に心に留めながらも、なかまの変化していく必要性に対応した環境をコミュニティの中に育みます。
- 多様な文化に深くかかわり、より人間らしい社会をめざし、ともに働きます。



わたしたちの核となる実践は日常生活に根ざしています



- わたしたちは、家庭、職場、その他の物理的およびバーチャルな場所（訳注：インターネット空間のこと）に、人生を共にする空間を創りあげます。
- わたしたちは食事、仕事、活動を共にする時間を大切にし、お互いの話に耳を傾け、共にいることを選びます。
- わたしたちは、内省し、物語を分かち合い、信仰を実践し、儀式や祈りを行うための空間を創ります。
- わたしたちは、誕生日、記念日、歓迎会、送別会、成長や死別などの節目の行事を行い、人生の節目を共に祝います。
- わたしたちは、指導的役割と意思決定を傾聴の実践によって担います。
- わたしたちは、お互いをケアします。学ぶこと、再び立ち上がること、守られること、適性を生きることを通して成長します。ケアすることのひとつとして、コミュニティでの生活について真実を伝えます。



ひとつでありながらも多様なわたしたちの連盟

- ラルシュの各コミュニティは、物語、友情、価値観、実践を通してお互いに結びついたネットワークです。
- わたしたちは各コミュニティが存在する地域社会の一員です。ラルシュは、価値観や実践を共有しながらも、文化が違えば異なる姿をしています。
- ラルシュに参加する方法はさまざまであり、新しいやり方も生まれています。これらも、わたしたちの価値観、実践、アイデンティティ、使命に基づいています。
- わたしたちはどこにしようとも、知的障がいのある人と共に、彼らとの連帯、権利擁護、正義、社会への積極的な参加に取り組みます。
- コミュニティを生きることへの招きと同時に、持続可能な環境を求める声にも私たちは耳を傾けます。
- 連盟の意義を共有しつつ、わたしたちは創立の物語における闇も認めています。わたしたちは、コミュニティ全体で、より一層の誠実さと説明責任に向けて協働してゆきます。



より人間らしい社会をめざして



- わたしたちのコミュニティは、それ自体が目的ではありません。わたしたちは、地域社会の一部となり、そこから学ぶことで、よりわたしたちの使命を全うできるようになります。
- わたしたちは、多様性の中に一体性を、弱さの中に強さを、そして相互依存の中に自由を見出します。
- 異なる人々との出会いは、新しい生き方やあり方へとつながり、愛のある持続可能な世界の構築に貢献します。こうした関係は、わたしたちの共通の家であるこの世界への希望と和解のしるしです。

